

別紙 2 8

【薬効分類】 4 2 9 その他の腫瘍用薬

【医薬品名】 アパルタミド

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、 レナカパビルナトリウムを投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、 レナカパビルナトリウム、 <u>エルビテグラビル・コビシスタット・</u> <u>エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ダ</u> <u>ルナビル エタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタビ</u> <u>ン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ビクテグラビルナ</u> <u>トリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマ</u> <u>ル酸塩、リルピビリン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビル</u> <u>アラフェナミドフマル酸塩、ダルナビル エタノール付加物・コ</u> <u>ビシスタット、ドラビリン、ドルテグラビルナトリウム・リルピ</u> <u>ビリン塩酸塩、リルピビリン、リルピビリン塩酸塩</u> を投与中の患 者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子

レナカパビルナトリウム	レナカパビルの血中濃度が低下するため、作用が減弱し、 <u>レナカパビル</u> に対する耐性出現のおそれがある。	本剤がCYP3A及びP-gpを誘導する。	レナカパビルナトリウム <u>エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩</u> <u>ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩</u> <u>ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩</u> <u>リルピビリン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩</u>	<u>これらの薬剤</u> の血中濃度が低下するため、作用が減弱し、 <u>これらの薬剤</u> に対する耐性出現のおそれがある。	本剤がCYP3A及びP-gpを誘導する。						
(新設)			<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1135 1075 1482 1126">薬剤名等</th> <th data-bbox="1487 1075 1774 1126">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1778 1075 1995 1126">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1135 1129 1482 1313"><u>ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット</u> <u>ドラビリン</u> <u>ドルテグラビルナトリウム</u></td> <td data-bbox="1487 1129 1774 1313"><u>これらの薬剤</u>の血中濃度が低下するため、作用が減弱し、<u>これらの薬剤</u>に対す</td> <td data-bbox="1778 1129 1995 1313">本剤がCYP3Aを誘導する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット</u> <u>ドラビリン</u> <u>ドルテグラビルナトリウム</u>	<u>これらの薬剤</u> の血中濃度が低下するため、作用が減弱し、 <u>これらの薬剤</u> に対す	本剤がCYP3Aを誘導する。		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子									
<u>ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット</u> <u>ドラビリン</u> <u>ドルテグラビルナトリウム</u>	<u>これらの薬剤</u> の血中濃度が低下するため、作用が減弱し、 <u>これらの薬剤</u> に対す	本剤がCYP3Aを誘導する。									

	<u>ム・リルピピリン塩酸塩</u> <u>リルピピリン</u> <u>リルピピリン塩酸塩</u>	<u>る耐性出現のおそれ</u> <u>がある。</u>	
--	---	---------------------------------	--